

トラックの積荷の住宅部材が落下し作業員が死亡！

— 木建工事現場内で荷降し中に被災 —

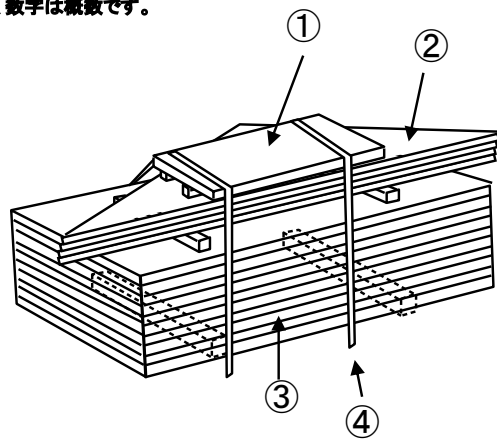
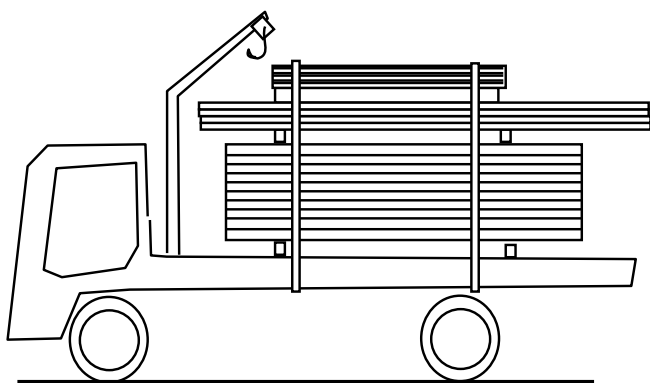
- ☆ 平成21年1月9日午後6時半ころ、白石市内の住宅新築工事現場で木製部材の荷ほどこ中、積荷の上部から部材が落下し、作業員（Aさん、42歳）が下敷きとなり死亡する事故が発生しました。
- ☆ 施工者は地場建設業者ですが、労働基準監督署では調査中としながらも「当該事故は、建設業者が同社のグループ会社（販売部門担当で施工業者とは別法人）へ部材を注文し、それを配達中の事故であるから請負関係にはなく、建設業の件数にはカウントされない」旨の見解を示しています。（労災事故には該当しますので「商業1件」となります。）
- ☆ 先月、仙台市内で類似事案（ユニック車の転倒）が発生し、148号でお知らせしたところですが、本件についても148号に準じた配慮（照明設備の提供や助言）が望ましいと思われま

以下に発生概要等を記載しますので同種災害防止の参考として下さい。

- ★ Aさんの所属会社は、事故当日の午後8時ころ、Aさんが戻らないことを心配し、現場を探したところ、被災しているのを発見した。
単独作業であったため目撃者はいないが、発生状況は次のように推定されている。
- ★ Aさんは会社の指示に基づき、大河原町の加工場でプレカット加工された商品（下図のような木材製品）を3トントラックに積み込み、午後6時半ころ白石市にある住宅新築工事現場に到着し、すでに暗くなった現場内で荷降し作業を始めた。
- ★ 荷は図のように2箇所をバンドで荷台に結束されていたが、何らかの原因で荷が落下した。
停車位置は平坦で問題はないが、落下の原因としては、以下のようなことが考えられている。
 - ・ 輸送中の振動によりバンドの結束が緩んだこと。
 - ・ みぞれ混じりの雨の中、バンドを外そうと無理に力をかけたこと。

トラックと積荷の概要

図はイメージ、数字は概数です。



工事現場へ到着後、後ろのバンドを外し、前のバンドを外したとき、②のうち3枚と①が落下した

- ①=合板材、長さ約2.7m、幅約0.9m、厚さ9mm、14枚
- ②=プレカットし二等辺三角形に組立てられた小屋掛け
短辺約3m、長辺約5.8m、厚み9cm、4枚
- ③=プレカットし組立てられた屋根材
長さ約4m弱、幅約1.6m、厚み約14cm、10枚
- ④=荷締め機(幅5mmのバンド。バックル様の器具が備えられ、人力で締めるもの。)